

# 古川なおきレポート



横浜市会議員 古川なおきの 政務調査報告

一月刊一 2009年12月15日

## 古川なおきレポート編集部による 2009年横浜市政10大ニュース

あっという間に師走となり、皆様もお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

さて、「2009年横浜市政10大ニュース」を、今年は古川なおきレポート編集部にて検討してみました。皆様にとってはどうのような1年だったでしょうか？

### 古川なおきレポート編集部による 「2009年横浜市政10大ニュース」

#### 1位 中田市長の退任と林市長の就任

…横浜市に激震が走りました！余波は今も続き、市政の問題も山積しています。

#### 2位 横浜開港150周年

…開国博・Y150イベントについてはさまざま意見がありますが、歴史的にとても意義深い年だったと思います。

#### 3位 横浜隼人高校が夏の甲子園に初出場、初戦勝利！

開港150年に花を添える！

…希望ヶ丘駅を利用する隼人高校の生徒さんが多く、地域の人々も横断幕や希望ヶ丘小学校で開催されたパブリックビューイングで一生懸命に応援しました。

#### 4位 旭区制40周年

…自然に恵まれつつ発展してきた旭区の魅力を改めて実感しました。

#### 5位 横浜市で国内初の感染疑い例が出現、新型インフルエンザが全国に広がっていった

…現在も注意が必要です。

#### 6位 横浜市副市長4人全員退任、12月議会で新たに3人が新任される

…横浜市の転機となってほしいと思います。

#### 7位 定額給付金の申請手続きと給付が行われる

…市民の皆さんに、任意で定額給付金の使いみちを生活や就労が困難な方への支援に寄付ができる制度を設けたところ、11,339件、97,787,812円の寄付の申し込みがありました。

#### 8位 開港150年に合わせ、世界卓球選手権横浜大会、横浜トライアスロン大会、横浜国際女子マラソンなど国際大会が多数開催される

…みなと横浜の風景とあいまって、熱い闘いが全国の人々を感じさせました。

#### 9位 横浜みどり税実施

…古川事務所にも市民の皆さんからさまざまな意見が寄せられました。

#### 10位 マリンタワー、象の鼻パークがオープン

…開港100周年的記念事業の一環として建てられたマリンタワーが再生され、横浜港発祥の地である象の鼻地区が歴史と未来を結ぶ象徴的な空間に生まれ変わりました。

左の順は、あくまでも古川なおきレポート編集部スタッフの検討によるもので、このほかにも候補として、

#### 番外①横浜のプロスポーツチーム、成績ふるわず残念

…横浜ベイスターズ：セ・リーグ6位、  
横浜・F・マリノス：J1リーグ10位、  
横浜FC：J2リーグ16位という結果でした。  
来年は各チームの優勝に向けて、市民皆で応援したいですね。横浜熱闘俱楽部を盛り上げましょう！

#### 番外②政権交代

…政令指定都市横浜にとっては、予算などへの影響が懸念されます。

等が挙がりました。横浜市や神奈川県による10大ニュースは、例年ですと12月20日前後に発表されているようですが、どれも想起できる出来事ではないでしょうか。

昨年の世界金融危機から端を発した雇用不安や円高、デフレ、また、新型インフルエンザの流行など私たちの日々の生活も今年は大きな影響を受けました。横浜市にとって開港150年の記念すべき年で、日本の社会が発展してきた歴史を実感し、未来を築いていく契機になるであろう重みがありました。記念行事についてはさまざまな意見がありますが、議会での検証も行われている最中です。個々の想いも異なるものがあると思いますが、市民活動が活性化し、市民ボランティアも多く活躍した催しだったと思います。

開国博・Y150のテーマソング、FM横浜でも頻繁に流れていた横浜出身アーティスト・ゆずさんの「みらい」が耳に残っています。

「～(略)～

生きているっていう事 繋がっているっていう事  
忘れないで

～(中略)～

さあ夢描こう 僕らの未来へ  
さあ旅立とう 輝く未来へ

さあ みらいへ

横浜のみらい、あなたのみらい、あなたのご家族の未来。  
夢をもって明るく進んでいきたいですね。

古川なおき政務調査事務所では、市政に対する皆様のご意見をお待ちしています。ミーティングで直接お話をうかがう機会は来年も設けていきますのでご活用ください。今年も古川なおきレポートをご愛読いただき、ありがとうございました。

古川なおきレポート編集部一同

古川なおき	県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了 横浜銀行勤務後、衆議院議員松沢成文(現在神奈川県知事)秘書 平成7年4月 横浜市会議員初当選(26才最年少) 平成19年4月 4期連続当選 現在 平成21年 都市経営・行政運営調整委員会 委員長 同 大都市・行財政制度特別委員会 委員 自民党横浜市会議員団所属 党市連財務委員長
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 防犯特集 何かとせわしい年の瀬です。まずはご自身、ご家族の防犯を！

## まちの安全・安心情報 「あさひ安全・安心かわら版」 配信中！（旭区役所）

旭区役所では、2008年3月より区内で発生した犯罪・放火発生情報や不審電話・感染症への対応といった区民の安全・安心に関する情報を、携帯電話・パソコンのEメールやFAXでお知らせする「あさひ安全・安心かわら版」を配信しています。

特徴として、①犯罪・放火発生情報だけでなく安全・安心に関わる様々な情報を提供します。②簡単に登録できます。③携帯電話のメールでも受信できます。④前日の犯罪・放火発生情報を翌日に提供します。

古川なおき事務所でも最近登録しましたが、ひったくりや駐車場での窃盗など、旭区内で毎日発生していることがわかりました。防犯はまず意識を持つことが大切だと考えますので、まだご利用されていない方は、この機会に登録されるのはいかがでしょうか。

## 旭安全安心連絡所の創設について（旭警察署）

旭安心安全連絡所とは、住民の方々に街の安全に関心をもってもらい、皆さんの身近で起きている様々な犯罪（空き巣、ひったくり等の街頭犯罪、車上ねらい等の駐車場犯罪など）を防ごうというもので、日常生活の中で見聞きした不審者情報や、防犯に繋がる情報を旭警察所に通報していく拠点です。

このたび、古川なおき事務所も旭安全安心連絡所となりました。希望が丘では駅前の不動産屋さん等も連絡所になっています。情報がありましたら、古川なおき事務所にお寄せください。

政務調査活動の一環として  
「市民の皆様のご意見を」「直接うかがう」

**古川なおき朝食ミーティング**

**新年はちょっと遅めの時間に行います！**

1月16日(土)「ジョナサン」希望が丘店

朝9～10時半（遅刻、早退自由）

会費★ご自分で注文した分を直接お店へお支払ください。

※当日、必ず「古川なおきレポート」をご持参ください。  
※特別に席を予約しているわけではありません。

本ミーティングは全体で議論する目的の会ではありませんが、状況により運営いたします。ご提案される内容について詳しくお話ししたい方は、別に日を設定させていただきますので、事務所までご連絡ください。

問合せ：古川なおき政務調査事務所 TEL391-4000

### 【あさひ安全・安心かわら版 メールでの登録方法】

①受信するパソコンまたは携帯電話の『宛先』に次のアドレスを入力します

<メールアドレス>asx-k@city.yokohama.jp

②件名に「あ」や「1」など1文字入力

③メール送信

④約5分後に登録確認メールを受信

⑤受信したメールに何も入れずに返信

⑥登録完了メールを受信

### 【あさひ安全・安心かわら版 FAXの場合】

①お手持ちの用紙にご自分のFAX番号と「あさひ安全・安心かわら版登録希望」を明記する（名前は記入不要です）。

②記入した用紙を次の番号へFAX送信

<FAX番号>951-3401

旭区役所総務課まちの安全・安心担当

③登録完了のFAXを受信

## 横浜市インフルエンザ情報

☆流行状況は、5週続けて低下しています。

☆学校等の施設閉鎖も施設数・患者数共に減少しています。

- 市内流行状況については、第44週（10月26日からの週）には「定点医療機関あたりの報告数」が39.18でしたが、5週続けて漸減し、第49週（11月30日からの週）は21.15とピーク時の54%と低下しています。
- 学級閉鎖等施設閉鎖の数も、第42週は239施設、対象患者5513人。第44週は262施設、4969人。第49週では92施設、1030人と、ピーク時に比べ施設数で35%患者数で19%と、減少しています。
- 第49週の迅速診断キットでは、A型（新型）が99.5%、B型が0.5%でした。
- 年齢層別推移では、各年齢層で概ね減少傾向です。
- 罹患者のうち、基礎疾患は「なし・不明」が59%。そのうち98%は20歳未満、50歳以上は全て基礎疾患がありました。最も多いのは糖尿病で、その他がん、白血病等血液疾患、心不全、人工透析、脳梗塞等でした。20歳未満で基礎疾患が見られたのは35%でした。喘息（寛解期を含む）が73%と最も多く、先天性な疾患とてんかんが各9%、その他鼻炎等アレルギー、外傷が少数みられました。
- インフルエンザの流行は一山を超えたと思われます。しかし、今後基礎疾患のない20歳未満のこどもの重篤化への注意が必要です。これからは、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症等冬季のこどもの感染症が増える時期です。小児の重症化に対応するために、予防接種の勧奨と軽症者は診療所を受診する等、症状による医療機関の選択受診が必要です。

インフルエンザの予防には、うがい、手洗い、マスクなどが有効です。長時間人ごみに出ないことや、適度の栄養と十分な睡眠をとるなど、日ごろの生活習慣も大切です。

<横浜市衛生研究所ホームページより抜粋>



## 横浜市コールセンターは年中無休

大みそか、元旦も皆様のお問合せお電話を受け付けています！  
午前8時～午後9時（土日祝日を含む毎日）

**TEL 045-664-2525**

古川なおき政務調査 事務所

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50

TEL : 045-391-4000 FAX : 045-366-9700

Mail: naoki@furukawa2002.com

URL: http://www.furukawa2002.com

